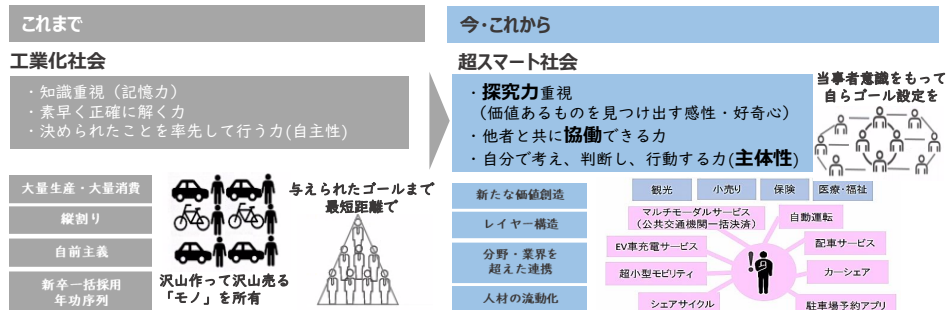


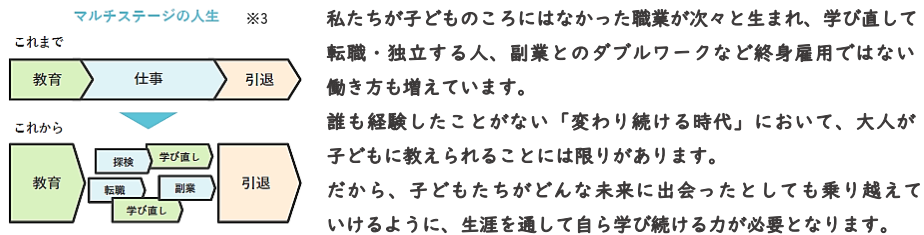
なぜ教育観を変える必要があるか？

(1) 子どもたちが生きていく時代に求められる力が変わってきています



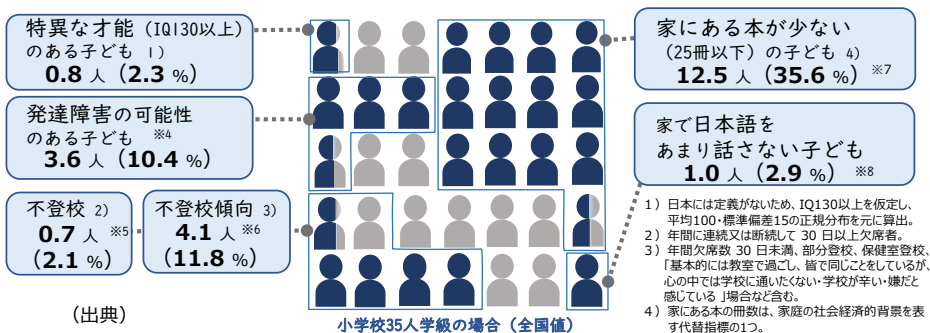
（出典）内閣府総合科学技術・イノベーション会議「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」より抜粋・一部改変

(2) これからは「マルチステージモデル」の人生に入っていきます



(3) 教室には多様な子どもたちがいます

下記のように数字として表れる子ども以外にも、学習の理解度や理解しやすい方法、認知特性などそれぞれ個人差があり、子どもたちはみんな違います。「みんな一緒に」「みんな同じことを」「同じ方法で」の学びでは、すべての子どもたちのwell-beingを実現することが難しくなっています。

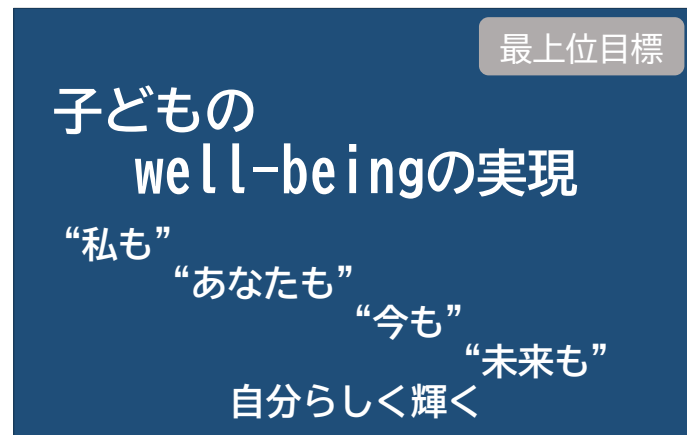


（出典）

（出典）内閣府総合科学技術・イノベーション会議「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」より抜粋・一部改変

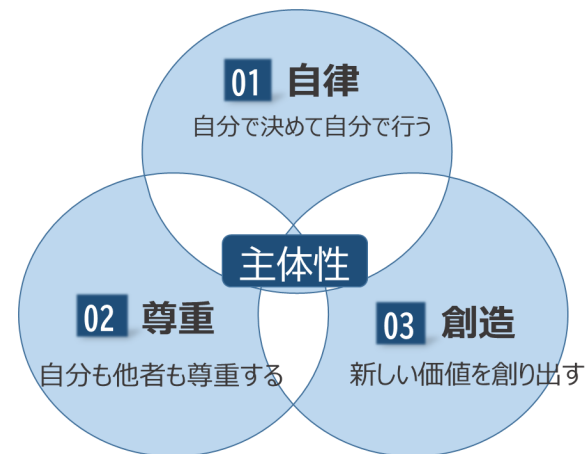
- ※3 文部科学省「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」（令和6年12月25日）より抜粋
※4 文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」（令和4年12月）
※5 文部科学省「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の課題に関する調査」（令和6年10月）
※6 日本財団「不登校傾向にある子どもの実態調査」（平成30年12月）
※7 国立教育政策研究所「令和6年度全国学力・学習状況調査報告書 質問紙調査」
※8 国立教育政策研究所「令和3年度全国学力・学習状況調査報告書 質問紙調査」

佐賀市学校教育ビジョン 2025



（注）well-being（ウェルビーイング）

“身体的・精神的・社会的に良い状態にある”こと。“生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福”や“個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態である”こと。



「主体性」を伸ばすための3つの力



佐賀市HP

佐賀市教育委員会

〒840-0811 佐賀市大財3丁目11番21号 大財別館3階 電話：0952-40-7356（代表）

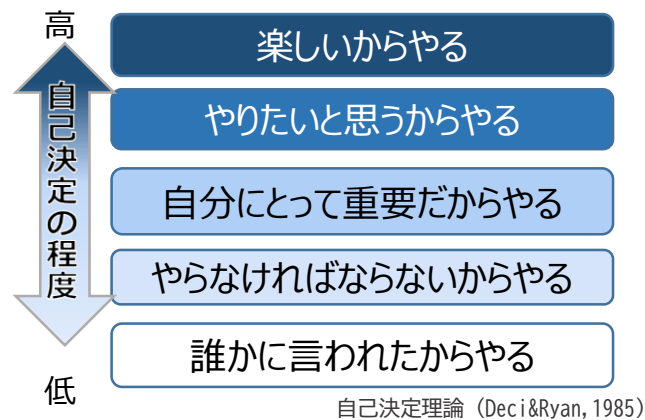
佐賀市では、**子どものwell-beingの実現**という最上位目標のもと、子どもの**主体性**を伸ばすために

01 「自律」 **02 「尊重」** **03 「創造」**の3つの力を育みます。

主体性

するかしないかも含めて 自分の意志や判断で行動する

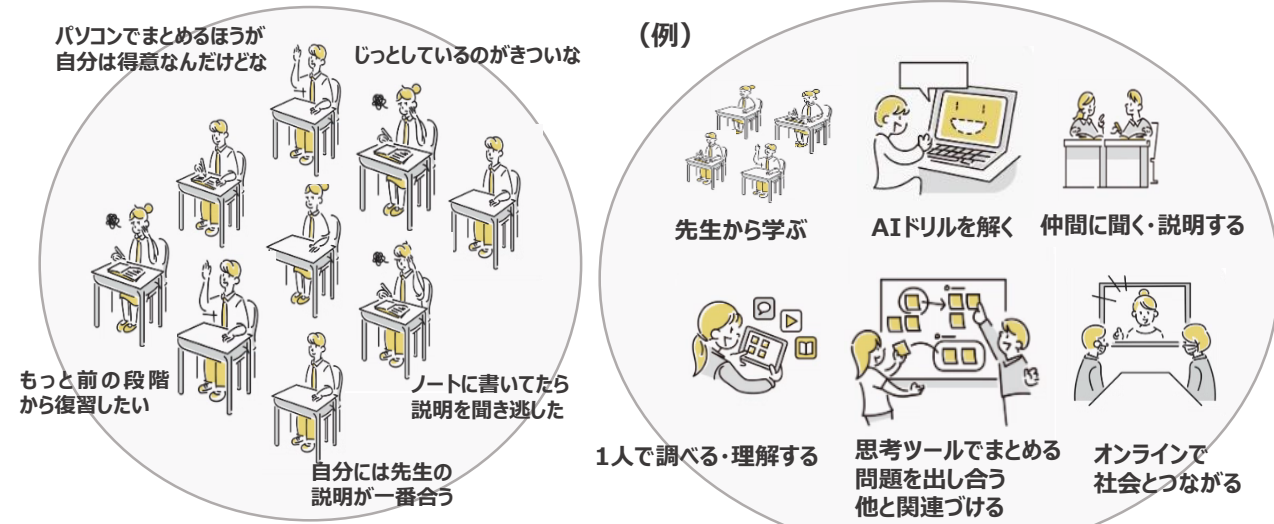
自分らしさを引き出す「主体性」の高まり



自己決定理論 (Deci&Ryan, 1985)
発達段階や集団の成熟度に応じて、大人は段階的に子どもたちに任せる部分（自己決定の場面）を増やしていきます

01 「自律」 自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力を育みます

みんな一緒に 同じことを 同じ方法で「教わる」➡ 何を使って 何をどう学ぶか「自分で」決める



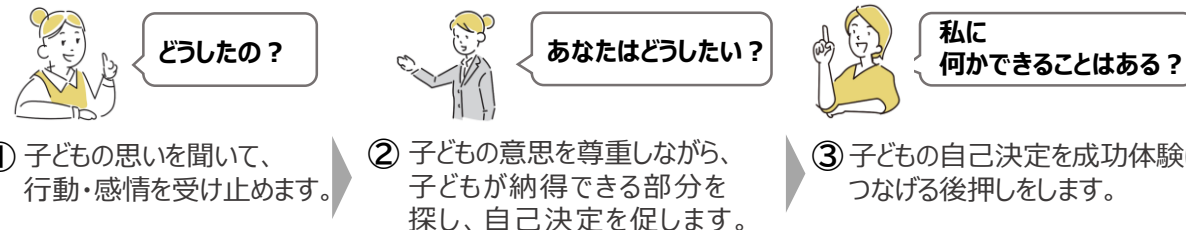
※イラストはイメージです。課題づくりや振り返りの場面など一斉型の形で行う時間や場面もありますが、子どもたちが自分に合った学び方やペースを自分で決めていく時間や場面を増やしていく方向性を示しています。

02 「尊重」 対立やジレンマを乗り越え、合意形成する力を育みます

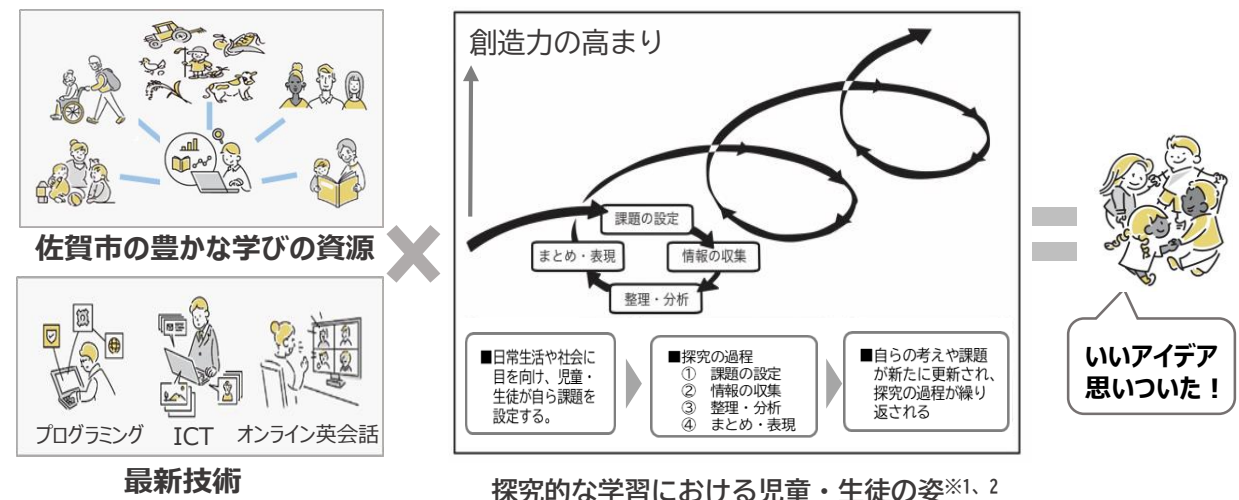
(自由の相互承認)



大人の伴走支援（問いかけ）



03 「創造」 多様な人々との協働を通して、新しい価値を生み出す力を育みます



※1 文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編」（平成29年7月）より抜粋・一部改変
※2 文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編」（平成29年7月）より抜粋・一部改変